

第32回 JSBA全日本スノーボードテクニカル選手権 東北地区大会

2025.1.24 (金) 秋田県 たざわ湖スキー場

選手の皆様大変お疲れ様でした。天候に左右されウエイティングも多少ありましたが、全種目終了できたことに感謝しております。役員の皆様、スキー場の皆様、協賛各社のご協力により無事大会を終えることが出来ました。ご協力ありがとうございました。

全日本選手権に出場される方は、東北地区代表として頑張っていたいただきたいと思います！！

東北スノーボード協会 教育部

東北スノーボード協会



2025.1.24 FRI

第32回
全日本スノーボード
テクニカル選手権
東北地区大会

AKITA TAZAWAKO SNOW RESORT
たざわ湖スキー場

32th Technical Championships



TOHOKU
snowboarding association
東北スノーボード協会



[第32回 全日本スノーボードテクニカル選手権東北地区大会]

主催：東北スノーボード協会 (TSBA)

後援：仙北市/仙北市教育委員会/一般社団法人 田沢湖・角館観光協会

協力：たざわ湖スキー場 (秋田県) / 日本スノーボード協会 (JSBA)

2024東北地区認定協力会：マックマリンショップ (青森県) / EXTREME (宮城県)

BIGGEST-SAMURAI (秋田県) / ZIEAL (山形県)

協賛：株式会社クリエイティブアソシエイツ (GraySnowboard)

HAYASHIWAX/有限会社 岡田樹脂工業 (OJKsnowboard)

小賀坂スキー販売株式会社 (OGASAKASNOWBOARDS)

大台スノーボードスクール (秋田県)



大会画像





皆さん 大会お疲れ様でしたー！！！！







ユース敢闘賞↓



アルパイン男子↓



フリースタイル女子↓



フリースタイル男子↓



クラブ対抗↓



HEAD JUDGE：唐牛 英俊

選手の皆さんテク選お疲れ様でした。

大会中ガスと雪により、視界が悪くなり、順番によっては滑りずらなかった方もいたと思います。

ショート、ミドルターンに関しては、一定のリズム、スピード、ターンの質が良く積極的に滑走した方を高評価しました。フリーライディングはターンの質、スピード、構成、積極性、全体の流れが良い滑走をした方を高評価しました。

JUDGE：平賀 長幸

選手の皆様、大変お疲れ様でした。

不安定な天候の中で、決して簡単とは言えない国体コースに挑む皆さんの滑り、強く印象に残りました。

このような場でジャッジをさせていただき本当にありがとうございます。

ミドル、ショート種目は、

運動の仕方 滑り方共に、これが正解という見方ではなく、ターンサイズが規定内にあり、左右の振り幅が比較的同じ、それでいてターンスピードと安定性が表現されている滑りが高得点に繋がりました。

フリーライド種目は、

斜度変化に合わせた滑走技術のバリエーションやトリックの安定感をスタートからフィニッシュまで高いレベルで表現した滑りが高得点に繋がりました。

今回、点数が予想外だった方は上記の内容を参考に練習してみてくださいはいかがでしょうか。

全日本に出場する選手の皆さん、悔いの残らない準備と強気の滑りで、リザルトに名前を刻んで来てください！

そして全日本選手だけではなく全選手に、来年の地区大会に向けて更なるレベルアップを期待しております。

JUDGE：山形 かおり

雪質と地形変化が複雑なテクニカルな斜面での演技だったと思います。

フォールラインが複数ある中で左右のバランスとサイズのコントロールがポイントの一つとなりました。

的確なポジショニングによる効率的な板への働きかけにより推進力のあるターンで終盤の緩斜面でもスピードとターンサイズを保ち演技できた方に高い評価をさせて頂きました。

今回も多くの素敵なライディングを見させていただきました。選手の皆様大変お疲れ様でした。

参加された選手の皆さん。そして観戦応援されていた皆さん。大会にご協力くださりまして誠にありがとうございました。そして協賛いただきました各メーカー様、スクール様には多大なるご支援ありがとうございました。

早速ですが競技委員長として大会についてお話しいたします。今回の大会は大きな変更点が三つありました。

一つ目は大会開催日が平日となったことです。今回の変更理由は各スクールさまからの要望もあり、試験的に平日開催しました。スクールでの日曜日は受講者が多いところであり、スタッフさんの大会参加が多いと運営に支障をきたすことから、以前から平日開催の要望がありましたので、今回は平日実施を行いました。その中でご意見は様々ありましたので、今後は一般参加者及びスクール関係者の要望を再度検討して開催曜日を決めていきたいと考えております。

二つ目は競技の連絡方法をラインのオープンチャットを使用させて頂きました。今までもラインのグループラインで大会連絡使用しておりましたが、遅れて登録すると、以前の内容にさかのぼることが出来ませんでした。しかしながら今回のオープンチャットだと、後から登録しても内容を確認出来ましたので、問題がなければ今後も使用していきたいと思っております。当然場内放送は継続します。

最後三点目は開催バーンの変更です。せっかく東北地区の代表（通過者）となった皆さんが、その練習成果を全国大会でも実力通り、発揮してもらうには、その全国大会を見据えた大会バーンにする必要があると思ひ、事務局及びスキー場さんと協議して変更させて頂きました。

結果として、国体コースでも十分に実力を発揮できた方々と、練習した結果が出せなかった方々と明暗が分かれた結果となったかもしれませんが、東北大会という名称どおりの見応えのある大会になったと思ひますので、選手の皆さまは今後ご健闘をお祈りいたします。

最後になりますが、今後も大会を実施していくには大会に参加される皆さんがいなければなりません。当方スタッフ一同、運営方法やジャッジングを良いものとし、さらに改善しながら頑張っ運営していきますので、今後とも大会参加の皆さんと関係者さまのご協力をお願いするとともに感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。